



NEWS RELEASE

報道資料
2009年2月4日
(日本時間)

アプライド マテリアルズ 第1四半期の業績予想を発表

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq: AMAT、本社: 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は2月2日 (現地時間)、2009年度第1四半期 (期末: 2009年1月25日) の業績予想を発表しました。

第1四半期は一株当たり0.09~0.11ドルの純損失を計上する見通しで、そのうち以下の費用が一株当たり利益を0.09ドル押し下げています。

1. 2008年11月12日に発表したコスト節減プログラムに関連したリストラクチャリング費用約1億3,300万ドル (一株当たり0.06ドル)
2. 厳しい経済情勢・事業環境に伴い資金繰りが悪化している一部の顧客の未収金に対する貸倒引当金4,800万ドル (一株当たり0.02ドル)
3. 半導体およびディスプレイ製品への需要減少に起因する追加の在庫費用2,000万ドル (一株当たり0.01ドル)

アプライド マテリアルズは2008年11月12日に2009年度第1四半期の希薄化後一株当たりの利益目標を0.00~0.04ドルに設定しました。上述の費用はその時点で予想外ないし未知であったため、この目標値には含まれていません。

第1四半期の純売上高は約13億3,000万ドルとなる見通しで、2008年度第4四半期を35%下回ります。これは先に設定した25~35%減という目標範囲の下限に当たります。

アプライド マテリアルズはこのかつてない事業環境に適正に対処するため、一時休業や追加のリストラクチャリングを含むコスト削減プログラムを引き続き実施する考えです。

アプライド マテリアルズは2009年2月10日 (現地時間) に第1四半期の業績を発表する予定で、同日午後1時30分 (太平洋標準時) から定例のカンファレンスコール (英語) を実施します。このカンファレンスコールの様子は、アプライド マテリアルズのホームページ (<http://www.appliedmaterials.com>) 「Investors」セクションにおいてウェブキャストします。

本プレスリリースには、第 1 四半期の業績予想とコスト削減策その他に関する将来の見通しが述べられています。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と実質的に異なる場合があります。そうしたリスクや不確定要素としては、①第 1 四半期決算の締め段階で起こり得る通常の資金調整、②グローバルな経済情勢・事業環境の不透明さ、③当社が効果的なコスト管理を維持し、コスト構造を事業環境にタイムリーに適合させる能力、④当社が証券取引委員会（SEC）に提出する書類（Form 10-K、Form 10-Q、Form 8-K 報告書を含む）に記載されたその他のリスクなどがあります。将来の見通しに関する記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズには、将来の見通しに関する記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 2 月 2 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：渡辺徹）は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 12 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
社長室：大橋 百合（Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831）
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>
